



堺市総合防災センター ～防災力強化に向けたアウトプットまで 導く伴走型の啓発施設～

大阪府堺市消防局予防部総合防災センター
所長 山本 浩司



堺市総合防災センター



防災センタースタッフ一同

1 施設の概要について

当センターは、防災について子どもから大人まで楽しく体験しながら学べる防災学習施設です。堺市内で想定される地震を体験できる地震体験、実際の炎を用いた消火体験、煙や暗闇の中での避難体験等、さまざまなリアルな体験ができ、自助、共助の大切さを理解しながら防災についてわかりやすく学べます。

また、敷地内には消防職団員の訓練施設を併設し、大規模災害時には消防本部の代替施設、全国からの応援部隊の集結場所となるほか、備蓄支援物資の集積配送拠点としての機能も有する本市の防災における中核施設です。

2 背景

当センターの運営主体は消防職員で、各種体験コースのツアーガイドは、経験豊富な消防OB職員が担っています。来館者アンケートからも体験の満足度は高く、その主な理由は体験内容やツアーガイドによる説明が良かったという意見が多くを占め、自助、共助の必要性や災害発生後の命を守る行動において、消防職員の豊富な経験を活かした技術的支援を提供できる

施設としても評価いただいています。

その一方で、身につけた防災知識や技術を、地域や各コミュニティなどで発信する機会やその指導方法など、アウトプット方法に苦慮しているといった声も寄せられていました。

3 取組事例の紹介

令和6年4月から当センターに「地域担当」部署を新設し、当センターの活用を広報しながら積極的に地域へ出向き、当センターでの学習を地域や教育とリンクさせ、自らが主体となって動ける人材の育成をめざし、次の取組（抜粋）を行いました。

【管内中学校に対して】

管内中学校の教諭から「校外学習において、主体となる生徒（中学2年生）に防災の知識がなく、どういった事をそれ以外の生徒たちに伝えたらよいかイメージが掴めず、アドバイスがほしい。」との依頼を受け、主体となる生徒に当センターでの各種体験を通じ知識のインプットと問題意識を持ってもらい、さらに、当センター職員が学校へ出向き、主体となる生徒と一緒に校外学習に参加する全生徒に対し、防災講話を実施しました。



管内中学校への防災校外学習支援

当センターでの支援内容を踏まえ、生徒主導のもと校外学習の実施内容について具体的検討を行い、当日は防災トイレの作製や簡易担架体験、胸骨圧迫の訓練等を生徒たちが楽しみながら取り組むことができ、校外学習終了後の自由研究「サバイバルレポート」作成（生徒たちが自発的に考えた災害時に自分や周囲の人を守る方法の研究）にまで展開しました。

【単位自治会に対して】

単位自治会において「毎年防犯、防災の行事を実施しているもののマンネリ化しており、出来るだけ負担の少ない形で、次年度以降も継続していけるような防災イベントを企画したいが良いアイデアが浮かばない。」との相談を受け、地域のニーズを踏まえた上で単位自治会で出来ること、消防側でお手伝いできることを整理し、子どもを中心とした全員参加型イベントの実施に結びました。

イベントの企画段階から当センターの支援が入ったことで、企画側の負担軽減につながり、次年度以降においても継続性のあるイベントとして定着しつつあります。



単位自治会への防災イベント企画支援

【民間法人・高齢者・学生ボランティアに対して】

本市在住65歳以上を対象とした防災プログラムを実施するにあたり、当センターの施設及び保有している防災教材等を活用し、民間法人や当センター職員の支援のもと防災学習を進めました。また、当センターで開催する消防関連行事にプログラム参加者が企画した防災ブースをアウトプットの場として提供しました。さらに、当センターと協力関係にある大学生ボランティアにも声をかけ、プログラム参加者がリーダーとなって大学生ボランティアをうまく活用しながらブースを運営できるような仕組みも構築しました。本プログラムを終えてからも、修業生の活躍の場を引き続き提供しています。



アウトプットの場を提供

4 成果と今後

地域住民のやる気を後押しし、アウトプットまでを支援することで、地域等で防災活動の企画や指導を担う方の心理的負担が軽減、防災への取組の主体性がより活性化され、持続可能な運営体制の構築に繋がりました。当センター職員においても、地域と企画段階から協働し作り上げることで、地域ニーズの把握が可能となり、実効性のある防災施策を行っていく上での良いきっかけとなりました。

今後も、発災から72時間まで（命のタイムリミット）の時間帯に必要な知識、技術を伝えられるのは我々消防職員であるという自負のもと、地域と連携、協働しながら地域防災力の向上に努めます。